

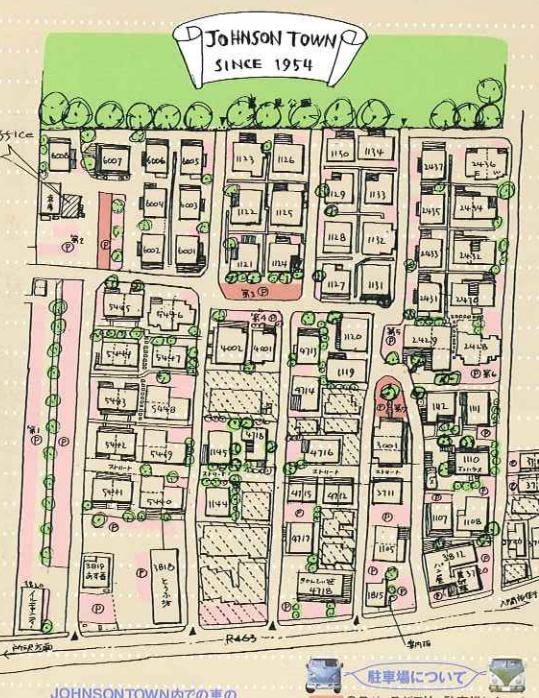
JOHNSON TOWN HISTORY

歴史と文化をまとった白い家の建ち並ぶ街

ジョンソンタウン…この街の歴史は1938年(昭和13年)から。当時の旧陸軍士官学校に勤める将校達のために平屋の日本家屋が建設されたのが始まりとされています。終戦後1954年(昭和29年)、この街にアメリカ進駐軍の軍人向けに玄関の段差のない外国人向け住宅が建設されました。

緑の芝生が敷き詰められた庭。靴のまま屋内で生活をし、週末はダンスパーティーが開かれるといった、アメリカンライフスタイルが満ちあふれた街として生まれ変わったのです。

米軍が去った後は画家、音楽家など、いわゆる芸術家の卵たちが好んで住むようになり文化の発信基地としてその形を変えてきました。その後、家屋の老朽化が進みましたが、オーナーの文化を保存したいという思いから利用できる家、具材は改築し、それと平行して雰囲気を残したままの新たなアメリカンハウスを建築するにつれ雰囲気に惹かれた人が集まりはじめ、進駐軍当時の基地の名前にちなんで「ジョンソンタウン」と呼ばれるようになりました。現在は120戸以上の住宅や個性的な店舗が建ち並ぶ白い街として映画やファッション、インテリア、カジュアル雑誌、CDジャケット、ミュージックビデオの撮影も行われています。

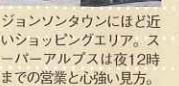
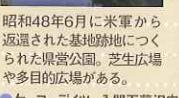


米軍夫婦のセンチメンタルジャーニー

この2枚の写真の人物は、どちらも1960年頃、米軍ハウスに住んでいたアメリカ人、マグレーンさんです。アメリカに現在住んでいるマグレーンさんは、一昨年の8月に世界一周クルーズの途中で来日しました。その際、懐かしい入間の地を訪れたのです。マグレーンさんは約50年前、ジョンソン空軍基地の米軍の子弟達が通う高校の教師として駐留、このハウスに住んでいたそうです。入間基地周辺の観光後、ジョンソンタウンを訪れたマグレーン夫妻は、自分が住んでいたハウスをもう一度覗たいと思い、昔の記憶を頼りに探していました。丁度そのハウスは改装中でしたが、設備などの変化はあるものの外観は昔のまま、内装も特徴的な部分は昔のままだったので、夫妻は大変興奮しあい喜びで盛んに記念写真を撮っていました。

●2010年8月発行
発行 ●株式会社 機野商会 入間事業所
●埼玉県入間市東町1-6-12
●04-2962-4450

©2010isonocorporation
記事・写真を無断で複写(コピー)、
転載することを禁じます。



インターネットによる予約もOK。ベストセラーも書籍で利用できます。



JOHNSON TOWN

Parkside House in
PhAI Azumacho Iruma





JOHNSON TOWN

米軍ハウスと平成ハウス、その家並み景観

JOHNSON TOWNでの暮らし

ジョンソンタウンは、米軍ハウスと呼ばれる平屋のアメリカン古民家と平成ハウスと呼ばれる現代的低層新築住宅が、樹々の間に点在して建っている自然豊かなレジデンスプレース。その街並は、アメリカの郊外を想わせます。米軍ハウスは、その歴史に愛着を感じることのできる家。三角屋根のダブルゲーブルハウスで白い横張りの板壁には昔ながらの趣が残っています。老朽化した建物構造を改修強化し、建物に残された造作や味を残しつつ、内装や水回りなどはリニューアルしました。

平成ハウスは、米軍ハウスの雰囲気を継承しつつ現代的建築基準で新築したハウスです。床暖房をはじめ、体に優しく安全で快適なライフスタイルを実現できます。歴史を継承しつつ安全快適に暮らせる街。それがジョンソンタウンです。



ゆるやかに流れる時間

隣には富士見公園、彩の森入間公園もすぐ近く。豊かな緑に囲まれたジョンソンタウンには、静かでピースフルな時間が流れます。散歩を楽しめるだけでなく、家中でもペットと共に暮らせる、愛犬家にとってはこの上ない環境。また、多くのハウスにはポーチがあり、天気のいい日は屋外にイスを持ち出して読書をしたり、友達を招いてバーベキューを楽しんだり、アウトドアビングルームとしてリラックスした時間を過ごせます。



個性と趣味を楽しむ暮らし

ハウスの内装は、スケルトンに近い仕様での賃貸になります。お住まいの方の好みに合わせて、独自のデザインで内装に手を加えたり、DIYで家具を作りつけたりご自身でカスタマイズすることが可能ですが(原状復帰が難しいものはご相談戴きます)。また、工房やお店としての使用など、自由度が高いのも特徴(住居エリアは除く)。

あなたのプランをお聞かせください。また庭でのガーデニングなど、趣味を楽しむこともできます。どうぞ自由に自分らしい暮らしを創ってください。



ボーダレスでありながらプライベートな空間

ジョンソンタウンの各ハウスの間には高い塀がありません。それが、街全体をひとつのおしゃれな空間にしています。この街に暮らす人々は、いつの間にか、みなお互いに顔見知りになり、あいさつを交わしたり立ち話をしたり。一方で、各ハウスには隣との適度な距離感が保たれていて、各戸にはセキュリティシステムも導入可能。ボーダレスでありながら、プライバシーと安全が保たれる空間。なかなか望めない距離感が、この街にはあります。



about JOHNSON TOWN

国道463号(行政道路)を一步入るとそこには古き良きアメリカの街並みがあります。二つの大きな公園に隣接し、米軍ハウスと呼ばれる平屋のアメリカン古民家と平成ハウスと呼ばれる現代的低層住宅が、樹々の間に点在して建っている自然豊かなビースフルなレジデンスプレース。それがジョンソンタウンです。築60年を超える米軍ハウスは屋根、梁、床など現代の建築基準を満たす木材は出来るだけ残しつつ、老朽化したものについてはその“味”を損なうことなく改修が施されています。当時の人々の息吹が宿った調度品にあなたもふれてみませんか。



Kitchen
古材がふんだんに使われたキッチンは、使う人の趣味、創造性をかき立て、シンプルな設計はその用途を制限しません。



Bed room

ベッドルームのスペースも十分に保たれています。間接照明がマッチする落ち着いた空間で疲れを癒してください。



Living room

広い吹き抜けの天井には天窓が施され、光と開放感に溢れた空間を贅沢に演出します。カスタマイズはあなたのセンス次第です。



JOHNSON TOWNのごだわり

●米軍ハウス



築60年の老朽化に対応し、全てのハウスは、柱と外壁を更新して構造の強化を図り、耐震性を高めると同時に快適性確保のため、断熱材強化で保温性能を向上。サッシ交換による気密性も十分確保しています。

●平成ハウス



米軍ハウスのイメージを踏襲しつつ、現代で得られる最高の安全性と快適性および美観を確保した住宅です。自由で広々とした空間を確保したスケルトン構造で建物内の改修もご自由にどうぞ。

●フラット



ジョンソンタウンにうまくとけ込んだワンルームタイプのフラットです。一人暮らしの方で町の雰囲気を味わいたい方にオススメです。

●外装



ハウス原型のイメージを残し複雑な凸凹を無くし、白色系の木質構造下見板を採用しています。また、左右バランスを重視し、サッシのラインが描いた窓や併設されたテラスはアメリカンスタイルを更に演出します。

●内装



トラスや古びた木材の感触を活かした米軍ハウスに対し、勾配天井採用によるロフトの2階を設けて広い居住スペースを確保した平成ハウス。どちらも原則として吹き抜け天井を採用。趣とスペースを確保しています。

●間取り



リビングスペースを確保することを第一義と捉えています。リビングと玄関室を一体化した設計によりスペース効率を更に確保しています。玄関を開いた瞬間、そこにはアメリカの家があります。

●バスルーム



バスルーム、トイレ、洗面所が一体化された設計。浴槽は猫足バス台、洗面は浴室の広さに応じて出来るだけ大型の洗面タップを採用しました。利便性と清潔感を共に追求、実現しています。

●エコ・スケルトン



再利用された木材は趣を醸し出し、建築廃材の抑制に努めています。また、森林資源活用上有効なOSBを構造材としてばかりではなく内装仕上げ材として多用し、改修する自由度を更に高めています。

●セキュリティ



各戸にセコムのセキュリティーシステムを導入しています。開放的な町を陰で支えるセキュリティーは心強い味方です。

●パリアフリー



原則、室内段差を作らないコンセプトであり、車椅子利用者を配慮した細かい配慮がなされています。平成ハウスでは階段口への階段も車椅子用のリフトを容易に取り付けられる構造になっています。

